

# はじめに

1 見直しの趣旨

2 見直しの視点

## 1 見直しの趣旨

本市では、平成21年3月に、全市的な都市づくりの方向性を示す第2次熊本市都市マスタープラン（全体構想）を策定し、『豊かな水と緑、多様な都市サービスが支える活力ある多核連携都市』を将来像として掲げています。

また、平成26年3月には、「第2次熊本市都市マスタープラン（地域別構想）」を策定し、全体構想で示された都市構造の将来像である「多核連携都市」に向けた基本方針を示すとともに、政令指定都市移行により設置された区の範囲ごとに都市政策上の主な取り組みを体系的に明らかにしています。

一方で、平成28年4月に発生した熊本地震により、インフラや公共施設、ライフライン、公共交通機関に甚大な被害が生じ、市民の生活や企業活動、行政活動等にも大きな支障をきたしました。

このことから、熊本地震で発生した様々な課題を踏まえ、主にこれまで取り組んできた都市防災に関する内容の見直しを行う必要が生じたことから、「災害にも強い多核連携都市」の実現に向けて、主に防災・減災面の見直しを行うこととしました。

## 2 見直しの視点

今回の第2次熊本市都市マスタープラン（地域別構想）の見直しでは、2018年8月に見直した、（全体構想）を踏まえ、主に防災・減災面での見直しを行います。

具体的には、【第3章 各区における都市づくり】の「災害リスクと対策基盤」及び「都市防災」において重点的に見直しを行います。

「各区の災害リスクと対策基盤」では、熊本市ハザードマップ等を活用し、各区に存在する災害リスクを防災関連図として、分かりやすく明示しています。

「都市防災」では、全体構想で見直した「都市防災の方針」を踏まえ、各区の取り組みや施策等を整理し反映させています。

